

日 時	令和8年1月23日(金) 11:50~12:35 17:35~18:20
学校名/機関名	栃木県立学悠館高等学校
対 象	1~3年生(約400名)
講 師	奥澤 健二 氏(奥澤産業株式会社 代表取締役社長) 吉田 恭平 氏(株式会社ダイニチ総合プランニング 代表取締役)
内 容	<p>「職業人にとって大切なこと」をテーマに、生徒の皆さんが将来の進路や職業観を養い、社会に出るための心構えを学ぶ機会として、講師自身の歩みや経営哲学について講話を行いました。</p> <p>まず具体的な仕事内容を紹介し、一見遠く感じる「BtoB」の商売が、実は生活に密着した社会の基盤であることを説明しました。社会人として、挨拶や身だしなみ、丁寧な言葉遣いといった「基本」を誠実に守ることが相手との信頼関係を築く第一歩であると説き、仕事においては時間管理も不可欠で相手の貴重な時間を奪わない意識がビジネスの成否を分けると強調しました。</p> <p>また、企業が求める人材とは「宝(人財)」であり、学歴や過去の経歴に縛られず、前向きに新しいことへ挑戦し続ける姿勢が重要であると語りました。やる気一つで人生は何度でもやり直せ、学びの努力は必ず報われることを実体験に基づき伝えました。加えて、栃木県は全国的にも豊かな産業と住みやすさを備えた地であり、地元で働くことの価値や社会貢献の喜びについても触れました。</p> <p>「仕事の喜び」という問いには、困難を乗り越えたあとの達成感や自分の仕事が社会に役立っているという貢献感こそが最大の報酬であると答え、校訓である「出藍」の精神を胸に、自分の可能性を信じて一歩ずつ前進してほしいというメッセージを送りました。</p>

